

議会だより

第80号

令和6年
1月25日発行

初詣（住吉神社）

コロナも段々と落ち着き、2024年は賑わいをみせる初詣となりました。

【主な内容】

12月会議で決めたこと	2	一般質問（7人が登壇）	10
令和5年度補正予算	5	行政視察に行ってきました	14
委員会レポート	8	市民の声	15
		議会だよりクイズ	16

議会の情報を発信中!

Facebook



12月会議で決めたこと



12月会議で決まった主な事業を紹介します。

◆「**吉崎市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例**」ならびに「**吉崎市長、副市長及び教育長の給与に関する条例**」の一部改正について

国家公務員の特別職等の給与に関する取扱いの状況等を踏まえ、議会議員、市長、副市長、教育長の期末手当の支給率を調整するため、所要の改正を行う。

◆**吉崎市国民健康保険税条例の一部改正について**

全世代対応型の持続可能な社会保障制度を構築するための健康保険法ならびに地方税法施行規則等の一部改正に伴い、国民健康保険税の減額について、世帯内に令和5年11月以降に出産する予定（出産した）の国民健康被保険者がいる場合の当該被保険者の出産予定月の前月から出産予定月の翌々月までにかかる所得割と均等割を減額（免除）する旨の改正を行うほか、所要の規定の整備を行う。

◆**吉崎市へき地保育所設置条例の一部改正について**

令和6年3月31日をもって吉崎市立渡良保育所、初山保育所及び沼津保育所を閉所するため、所要の改正を行う。

◆**公の施設の指定管理者の指定について**

市が所管する各施設の管理・運営者を選定し、指定する。
指定期間：令和6年4月1日から令和9年3月31日まで。

○**吉崎市テレワーク施設**

指定管理者：一般社団法人 吉岐みらい創りサイト 代表理事 吉田 寛

○**吉崎市芦辺浦住民集会所**

指定管理者：芦辺浦商業組合 組合長 篠崎 勉

○**吉崎市自動車教習場**

指定管理者：株式会社 共立自動車学校 代表取締役 長島 正太郎

○**吉崎市高等職業訓練校**

指定管理者：職業訓練法人 吉岐高等職業訓練協会 会長 松永 裕一

○**マリンパル吉岐**

指定管理者：有限会社 マリンパル吉岐 取締役 赤木 英機

○**原の辻一支国王都復元公園**

指定管理者：特定非営利活動法人 一支國研究会 理事長 伊佐藤 由紀子

下記の指定期間：令和6年4月1日から令和11年3月31日まで。

○**青嶋公園**

指定管理者：吉崎市森林組合 代表理事組合長 深見 忠生

審議結果をP6の「議案と審議結果一覧表」に示しています。

どんな予算のあと？

12月追加補正予算

物価高騰対応重点支援事業費 総額3億9,386万円

エネルギー・食料品価格等の物価高騰等の影響を受けた生活者や事業者への支援を実施し、市民生活の安定と市内経済活性化を図る。



低所得世帯に対する臨時特別給付金事業(市民福祉課) 2億8,481万8千円 **新規**

基準日(令和5年12月1日)において苓岐市内に住所を有する世帯のうち、住民税均等割非課税世帯(但し、住民税均等割が課税されている者の扶養親族等のみで構成される世帯を除く。)に対して現金7万円を給付する。

●事業内容

- 給付金 2億8千万円(7万円×4,000世帯)、事務費 481万8千円

生活応援プレミアム付き商品券発行事業(商工振興課) 8,079万4千円 **新規**

生活物資高騰の影響を受けている市民生活の安定と市内経済の活性化を図ることを目的として、プレミアム付き商品券を発行する。

●事業内容

- 発行内容: 3,000円分(500円券6枚)の商品券を2,000円で販売(プレミアム率50%)
- 販売総数: 70,000セット(1人3セットまで購入可能)
- 販売開始予定日: 令和6年2月1日
- 事業費 7,920万円、事務費 159万4千円

観光交通インフラ支援事業(観光課) 400万円 **新規**

観光貸切バス事業者及びレンタカー事業者に対して補助することにより、事業者の経営支援及び市内経済の活性化を図る。

●事業内容

- ①一般貸切旅客自動車運送事業者
貸切バス: 1台あたり8万円
- ②自家用自動車有償貸渡業者
レンタカー: 1台あたり1万円
- 事業費 399万円、事務費 10万円

飼料価格高騰緊急対策事業(農林課) 211万5千円 **新規**

「配合飼料価格安定制度」に加入する畜産農家に対して、生産者積立金の600円/tのうち、長崎県と同額の一部を支援する。(県: 200円/t、市200円/t)

●事業内容

- 生産者積立金に対して200円/t(定額)を支援
配合飼料10,300t×200円=206万円
- 事業費 206万円、事務費 5万5千円

肉用牛経営緊急支援事業（農林課） 2,034万円 **新規**

和子牛の平均価格が国事業の発動基準価格60万円を下回った場合に、和子牛生産者に対し、販売頭数に応じて四半期ごとに平均価格と発動基準価格との差額3/4の国の支援交付金の対象とならない1/4について、長崎県と同額を一部支援する。（国：3/4、県1/8、市1/8）

●事業内容

- 和子牛の平均価格と発動基準価格の1/8を支援
- 事業費 2,023万円、事務費 11万円

肉用牛肥育経営安定特別対策事業（農林課） 179万3千円 **新規**

肉用牛肥育経営安定交付金制度（牛マルキン）に要する生産者積立金1/4のうち、長崎県と同額の1/6以内を支援する。

●事業内容

- 生産者積立金に対して1/6以内（上限1,620円/頭）を支援
生産者頭数1,100頭×1,620円/頭＝178万2千円
- 事業費 178万2千円、事務費 1万1千円

12月補正予算**令和5年9月豪雨により被災した施設等の復旧 総額2,799万円****農地及び農業用施設災害復旧事業費（現年災） 219万円** **増額**

被災した農地及び農業用施設の復旧を行う。

公共土木施設災害復旧事業費 総額2,580万円 **増額**

被災した公共土木施設の復旧を行う。

- 現年災補助 1,650万円 **増額**
- 現年災単独 930万円 **増額**

新型コロナウイルス感染症対応事業費 総額1,134万5千円**吉崎市公共交通事業継続緊急支援事業（総務課） 483万5千円** **増額**

燃料費高騰の長期化による経費増加の影響を受けながらも、市民の日常生活や経済活動を支える重要な社会インフラとして事業を継続している公共交通事業者に対し、支援金を支給し公共交通の維持を図る。

●事業内容

- ①吉岐交通 10万円×19台＝190万円
- ②吉崎市内タクシー事業者 2万円×38台＝76万円
- ③吉岐・対馬フェリー(株) 217万5千円×1隻＝217万5千円

吉崎市生活物資等運送支援事業（商工振興課） 651万円 **新規**

燃料費高騰の長期化による経費増加の影響を受けながらも、市民生活に欠かすことのできない生活物資の輸送など重要な役割を担っている貨物運送事業者等に対し、支援金を支給することで安定した市民生活の確保へと繋げる。

●事業内容

○貨物運送事業者

- ①普通自動車(排気量2000cc超)・けん引自動車：4万円/台×140台=560万円
- ②小型自動車(排気量2000cc以下)：2万円/台×20台=40万円
- ③軽自動車(排気量660cc以下)：1万円/台×40台=40万円

○自動車運転代行業者

- ①伴走自動車：1万円/台×10台=10万円

○事務費(振込手数料)：1万円

※補助金は対象車両等の保有数によって支給

移住・定住促進プロジェクト事業 216万7千円 増額

市民の島外への通勤及び通学を支援するため、壱岐市発着の船舶及び飛行機の利用にかかる交通費を助成することにより、定住人口の減少に歯止めをかけるとともに、将来のUターンを促進し地域の活性化を図る。

●事業内容

〈島外通勤・通学者交通費助成金〉

今年度の新規認定者も多く、交付対象者が当初見込みから増加しているため、追加補正する。

当初：30人(通勤28人、通学2人)

見込：46人(通勤38人、通学8人)

**令和5年度
補正予算**

一般会計の12月補正予算額計	5億5,660万5千円
特別会計の12月補正予算額計	5,580万2千円
一般会計＋特別会計補正後の予算額合計	340億6,310万円

○令和5年度各会計予算一覧

(単位：千円)

会 計 名		現計予算額	12月補正予算額	12月追加補正予算額	補正後予算額合計
一 般 会 計		24,916,459	162,745	393,860	25,473,064
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,552,513	39,527		3,592,040
	後 期 高 齢 者 医 療	393,978	6,800		400,778
	介 護 保 険	3,837,684	7,572		3,845,256
	下 水 道	463,872	589		464,461
	三 島 航 路	124,268	1,314		125,582
	農 業 機 械 銀 行	161,919			161,919
	合 計	8,534,234	55,802		8,590,036
一般会計・特別会計の合計		33,450,693	218,547	393,860	34,063,100

○企業会計

(単位：千円)

会 計 名	内 訳	現計予算額	12月補正予算額		補正予算額
水道事業会計	収益的収入	748,970			748,970
	収益的支出	903,245	△6,407		896,838
	資本的収入	309,148			309,148
	資本的支出	477,754			477,754

議案と審議結果一覧表

開催月	議案番号	議 案 件 名	付託委員会	本会議採決結果	
12月	報告第18号	損害賠償の額の決定に関する専決処分の報告について	—	12/11	報告済
	議案第54号	吉岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第55号	吉岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第56号	吉岐市職員の給与に関する条例及び吉岐市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第57号	吉岐市技能労務職員の給与の種類及び基準に関する条例及び吉岐市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第58号	吉岐市税条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第59号	吉岐市国民健康保険税条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第60号	吉岐市へき地保育所設置条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第61号	吉岐市下水道事業に地方公営企業法の規定の全部を適用することに伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	産業建設	12/22	可決
	議案第62号	吉岐市水道事業職員の給与に関する条例の一部改正について	産業建設	12/22	可決
	議案第63号	吉岐市火災予防条例の一部改正について	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第64号	公の施設の指定管理者の指定について（吉岐市テレワーク施設）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第65号	公の施設の指定管理者の指定について（吉岐市芦辺浦住民集会所）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第66号	公の施設の指定管理者の指定について（吉岐市自動車教習場）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第67号	公の施設の指定管理者の指定について（吉岐市高等職業訓練校）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第68号	公の施設の指定管理者の指定について（マリンパル吉岐）	産業建設	12/22	可決
	議案第69号	公の施設の指定管理者の指定について（原の辻一支国王都復元公園）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第70号	公の施設の指定管理者の指定について（青嶋公園）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第71号	令和5年度吉岐市一般会計補正予算（第5号）	予算特別	12/22	可決
	議案第72号	令和5年度吉岐市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第73号	令和5年度吉岐市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第74号	令和5年度吉岐市介護保険事業特別会計補正予算（第2号）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第75号	令和5年度吉岐市下水道事業特別会計補正予算（第2号）	産業建設	12/22	可決
	議案第76号	令和5年度吉岐市三島航路事業特別会計補正予算（第1号）	総務文教厚生	12/22	可決
	議案第77号	令和5年度吉岐市水道事業会計補正予算（第1号）	産業建設	12/22	可決
	議案第78号	令和5年度吉岐市一般会計補正予算（第6号）	省略	12/22	可決
	認定第1号	令和4年度吉岐市一般会計歳入歳出決算認定について	決算特別	12/22	認定
	陳情第1号	年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情	総務文教厚生	12/22	不採択
	発議第2号	核兵器禁止条約の実効性を高めるための主導的役割を果たすことを求める意見書の提出について	省略	12/22	可決

●12月会議で賛否（賛成、反対）のあった議案

議案名番号	森俊介	樋口伊久磨	武原由里子	山口欽秀	中原正博	山川忠久	植村圭司	清水修	土谷勇二	音嶋正吾	豊坂敏文	中田恭一	市山繁	赤木貴尚	賛成	反対	結果
議案第54号 苓岐市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	11	2	可決
議案第55号 苓岐市長、副市長及び教育長の給与に関する条例の一部改正について	×	○	×	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	10	3	可決
議案第60号 苓岐市へき地保育所設置条例の一部改正について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	12	1	可決
認定第1号 令和4年度苓岐市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	12	1	認定

議案第54号・議案第55号・議案第60号・認定第1号
反対討論あり

小金丸益明議員は議長のため採決には入りません。



意見書を提出しました

核兵器禁止条約の実効性を高めるための
主導的役割を果たすことを求める意見書

核兵器禁止条約締約国会議が既に2回開催された。

昨年6月の第1回締約国会議では、核兵器の非人道性を再確認するとともに、核兵器に依存した安全保障を批判し、条約への参加促進や核被害者援助など、条約の内容を実現する方策を盛り込んだ最終文書である「ウィーン宣言」と具体的な手順や行動を定めた「ウィーン行動計画」が採択された。

また、本年11月27日から12月1日に開催された第2回締約国会議では、「検証可能かつ不可逆的な核廃絶が急務だ」と訴える政治宣言が採択された。

この2回の会議には、核の傘の下にありながらオブザーバー参加した国があったものの、核保有国やその同盟国の多くは参加せず、今後、核兵器禁止条約の実効性を高めるためには、これらの国の参加が大きな課題となっている。

また、核兵器禁止条約の効果的な運用と発展のためには、核保有国やその同盟国をはじめ多くの国が参加し議論が行われることが重要である。

なお、2回の核兵器禁止条約締約国会議には、長崎、広島両市長が出席。本年11月29日の第2回締約国会議で、長崎市の鈴木市長は「『世界中の誰にも二度と同じ体験をさせてはならない』という被爆者の思いを受け継ぎ、世界に伝え続けていくことを約束する。長崎を最後の戦争被爆地とするために」とスピーチした。

被爆から75年以上が経過した今もなお核兵器使用のリスクに世界が直面する中で、唯一の被爆国である我が国は、核兵器廃絶の実現に向け特別の役割と責任を負っている。

よって、次の事項を行動に移すことにより、核保有国と非核保有国の橋渡しに努めるなど、核兵器禁止条約の実効性を高めるために主導的役割を果たされるよう強く要望する。

- 1 核兵器禁止条約を早期に署名・批准すること。
- 2 その上で、核保有国を含む核兵器禁止条約に署名・批准していない国に対し、署名・批准を要請すること。

《提出先》衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、外務大臣



委員会レポート



総務文教厚生常任委員会

12月会議で付託された18議案については全て可決、陳情1件については不採択とした。

【委員会意見】

陳情第1号：年金制度における外国人への脱退一時金の是正を求める意見書の採択を求める陳情

意見書の提出を願意とする陳情であるが、本市においては、現在のところ脱退一時金の運用において、日本人と外国人の被用者間で退職時の不公平等は確認されていないため、意見書の提出は行わず、陳情内容については今後も実態把握に努めながら注視していく。

産業建設常任委員会

12月会議で付託された5議案については全て可決した。

予算特別委員会

12月会議で付託された令和5年度苓岐市一般会計補正予算（第5号）については原案のとおり可決した。



決算特別委員会

9月会議で付託された令和4年度苓崎市一般会計歳入歳出決算認定については認定した。

【委員会の経過】

本議案は9月会議において質疑まで終了し、決算の細部については、各常任委員会の所管事務調査の中で審査を行った。



■令和4年度決算額

(単位：千円)

区 分		歳入総額	歳出総額	差引額	翌年に繰越すべき額	実質収支額
一般会計		24,052,480	23,389,773	662,707	171,525	491,182
特別会計	国民健康保険事業	3,426,281	3,414,431	11,850	0	11,850
	後期高齢者医療事業	377,932	372,393	5,539	0	5,539
	介護保険事業	3,771,123	3,530,957	240,166	0	240,166
	下水道事業	366,729	366,514	215	0	215
	三島航路事業	122,369	122,369	0	0	0
	農業機械銀行	154,785	122,831	31,954	0	31,954
	特別会計の合計	8,219,219	7,929,495	289,724	0	289,724
一般会計・特別会計の合計		32,271,699	31,319,268	952,431	171,525	780,906

■令和4年度未収金一覧

(単位：千円)

未収金内訳	令和4年度	令和3年度	増減額
市税	129,419	146,243	△ 16,824
分担金・負担金	1,603	2,451	△ 848
使用料・手数料	26,345	30,828	△ 4,483
財産収入	612	910	△ 298
諸収入	33,418	27,157	6,261
国民健康保険税(返納金含む)	123,706	150,048	△ 26,342
後期高齢者医療保険料	3,256	2,527	729
介護保険料	43,268	41,197	2,071
下水道使用料	1,982	2,268	△ 286
農業機械銀行使用料	1,127	995	132
合 計	364,736	404,624	△ 39,888



一般質問

7人が登壇 市政を問う

市政全般について個々の議員が自由に質問するものです。掲載内容は、主な質問と答弁の要旨であり、質問議員自らが、原稿執筆したものです。

右下のQRコードをスマートフォンなどで読み取ってダウンロードすると、一般質問の音声を聴くことができます。

※読み取り方法は、スマートフォン等の機種によって異なります。

※ダウンロードすると、通信料が発生します。費用は利用者の負担になります。



植村 圭司 議員

質問 健康寿命を延ばす 施策を積極的に

答 来年から「フレイル予防」を
明確にして取り組む

植村 「長崎県版健康長寿の評価指標」という健康度順位で壱岐市は、県内21市町のなかで最下位であった。健康長寿を目指す施策をより積極的にすべきと考えるが見解は。

保健環境部長 最下位という評価を真摯に受け止め、保健事業を見直し、充実を図る。効果的な事業を企画立案し、行動変容や意識向上を支援していくことが必要不可欠と考える。

植村 健康長寿には「フレイル（＝虚弱）予防」が効果的だと考える。健常な状態から要介護に至る過程で、フレイル予防を行えば健康寿命は延びると講演会で知った。壱岐市で実践してはどうか。

保健環境部長 フレイル予防の先進自治体が、情



元気な高齢者・
フレイル（虚弱）な高齢者

報交換会を行っている。そこに壱岐市も1月と2月に傍聴参加を予定。4月以降の介護保険事業計画に「フレイル予防」を明確に打ち出す。

植村 実現を期待する。

壱岐牛消費拡大に向けた施策を

植村 燃料や飼料価格高騰などで畜産農家の経営が圧迫され、大変な状況。このままでは離農が進むが対策は。壱岐牛消費拡大促進も一手と考えるが見解は。

農林水産部長 市独自に農業生産価格高騰対策事業がある。県市の追加事業で、子牛1頭あたり平均価格60万円を保証するなど、支援追加を予定。また、壱岐牛消費対策としては、各種販売促進やふるさと納税返礼品などでも消費を拡大。希少価値をプラスと考え、更なる島外での販売戦略が必要と考える。

植村 畜産農家に寄り添った施策を評価する。国・県の施策を更に活用を。

来年は市長選。一次産業のあるべき姿を市長はどう認識すべきか。

市長 「一次産業が基幹産業」という認識がなければ市長の資格は無い、と断言する。



土谷 勇二 議員

質問 認定こども園化に向けた考えは

答 各町1か所ずつの認定こども園の整備計画を引き続き進める

土谷 他市においても認定こども園化が進んでいる状況を踏まえ、本市内の公立保育所、公立幼稚園の認定こども園に向けた考えは。

市民部長 公募を行い民間事業者のこども園開設も選択肢のひとつ。国の交付金等を活用し関係機関と連携し、認定こども園の計画を進める。

土谷 郷ノ浦幼稚園を認定こども園への考えはないか。

教育次長 現在、幼稚園を幼稚園型認定こども園にするには、国・県などの認定基準があり保育所の機能をもたせるため、保育士の確保や給食の提供施設の改修が求められる。また、園児数が減少し続けている状況もあり、現時点では認定こども園への移行の予定はない。



土岐市図書館計画について

土谷 土岐市図書館整備基本計画が令和元年12月に示されてすでに4年経過、現在の状況と今後の方針は。

教育次長 財政基盤確立計画推進の中で一旦、先延ばしの判断となり、計画地も急傾斜地警戒区域等に指定され、財政面だけでなく候補地の検討も必要となり、計画は現在止まっている。

教育長 財政基盤確立計画が令和6年度まで、その後改めて図書館建築の会議を開き、市民の意見を聴く。

観光振興について

土谷 コロナ禍で観光施設は人員を削減していたが、今後は人手不足が課題となるが、市の課題認識は。また、若者や家族旅行者を呼び込み、地産消費拡大に繋げるよう市独自の観光応援券などを発行してはどうか。

企画振興部長 人材不足は大きな課題だと認識しており、今後も課題解決に向け研究する。消費拡大については、3,000円の宿泊券を1,000円で買えるクーポン券や土岐市対馬市周遊ツアー支援事業を実施している。



武原 由里子 議員

質問 監査活動の充実に向けた取組は

答 問題点等がある場合、現地での伝票処理等の確認も行っていく

武原 附属機関等の監査の必要性は。

代表監査委員 現在も実施。

誰ひとり取り残されない学びと育ちの充実に向けて

武原 第3期子ども・子育て支援事業計画策定の進捗状況は。

市民部長 今年度中にニーズ調査をまとめる。また、小学5年生・中学2年生・高校2年生親子や18～39歳の若者にwebアンケートも検討中。

武原 第3期子ども・子育て事業計画を検討する会議メンバーに公募委員を入れ、新しい答申の必要性は。

市民部長 委員の任免や諮問は市長の専権事項と認識。

武原 自治基本条例第18条「付属機関等の委員の選任は公募等を行い、市民の意見を反映させなければならない。」とあるが。

市長 意見は十分お聴きしたい。

武原 持続可能な病児・病後児保育の施策の見通しは。

市民部長 民間1医療機関と委託契約し実施。生後6ヶ月～小学3年生までが対象。平成30年度333人。令和元年度223人。令和5年度10月末144人。

武原 1日の利用限度が3人。利用者のニーズを調査項目に入れて今後、実態把握を。

不登校生徒の中学卒業後の支援体制は。

教育長 全員が進学。県内は引き継ぎガイドラインで情報共有。県外への進学や就職後の実態は把握できていない。

武原 中学不登校や通信高校進学者や退学者には、学び直しの支援も必要。

公共施設の使用料等について

武原 旧4町時代の料金体系を見直す共通の指針は。

総務部長 算定基準による料金は引き上げられ、市民には理解が得られない。

教育長 非営利団体等で入場料が利益にならないことを確認する方法を確立した上で、他施設との調整が必要。

武原 旧町内は無料の施設もある。条例や規則の見直しは。

総務部長 市民の利用促進を図っていくよう試算していく。



山口 欽秀 議員

質問 原子力防災に関する市民啓発について

答 『原子力防災の手引き』を配布し、周知している

山口 避難先、避難経路、手段の周知はどうしているのか。

総務部長 『原子力防災の手引き』に示し、原子力防災訓練への参加などで周知している。

山口 原発事故災害についての出前講座を開催するのはどうか。

総務部長 依頼があれば対応したい。

避難困難者への支援計画について

山口 高齢者、障がい者等の避難困難者への支援計画は。また、避難行動要支援者名簿は作成されているのか。

総務部長 一部作成、策定済み。より具体的な避難計画とすべく、保健所と協議中。一人一人の避難先、避難を支援してくれる人を決めるよう努めている。

山口 岐阜市内の病院の入院患者等の移送先、移送方法は。



総務部長 県・市の指示で避難する。

山口 岐阜病院で災害が起きたときに急病人を第一に運ぶ病院は決まっているのか。

総務部長 県と確認する。

避難所の設備整備について

山口 高齢者等の要支援者に配慮した避難所の整備は。

総務部長 防災訓練等を通じて、市民の安全安心を優先し取り組む。

山口 ベッド、寝具、洋式トイレの準備はあるのか。

総務部長 備蓄物資の中には確認していない。

山口 避難計画に不備があると言える。

安定ヨウ素剤について

山口 安定ヨウ素剤の配布計画は。

総務部長 必要数を備蓄している。

山口 安定ヨウ素剤は、被爆する24時間前から被爆した2時間後までに飲むことで効果がある。避難所にも置くように原子力規制庁が言っているが、避難所に置くべきではないか。

総務部長 市役所をはじめ各所に保管し、すぐ対応できる体制を整えている。

山口 これまでの質問から、原子力災害発生に伴う避難計画は極めて不十分であると言える。市民の命を守るために出来ることから準備していくべき。



樋口 伊久磨 議員

質問 市ホームページの保育園情報の充実を

答 リニューアルに伴い、より充実した情報提供に努める

樋口 若い世代の移住者は、事前に子育て環境を調べるため、市のホームページの保育園情報は保護者のニーズに沿った情報発信が必要と考えるが。

市民部長 現在、市のホームページのリニューアルを実施している。移住に関する情報の中に、保育所等の子育て情報を組み込むよう、関係各課と調整し、より充実した情報提供に努める。

樋口 移住手続きのチェックリストを発行出来ないか。

企画振興部長 令和3年度から移住コーディネーターを採用。移住希望者や移住された方へのフォローアップ体制を強化し、ポータルサイトで情報の周知を図っている。保育所、学校関連の手続きに関しては、口頭、又はガイドブックで案内。簡易的なチェックリストの導入については、今後検討する。

樋口 3歳未満の時間外診療の医療費無償化は出来ないか。

市民部長 医師会等と協議調整を行い、更なる子育て支援サービスの充実に努める。

芦辺ふれあい広場の改修について

樋口 バックネット裏スタンドの観覧席のベンチが腐食し非常に危険な状態。早急に改修の必要があると考えるが。

教育次長 現在、危険な状態にあるベンチは撤去をしている状況。新たな観覧席を、なるべく早期に着手したい。

観光地について

樋口 市内観光地に景観を損なわない範囲で、ローマ字オブジェや顔出しパネルを設置するのはどうか。

企画振興部長 オブジェの屋外設置は、国定公園や自然公園法の規制が関係する。今後、他自治体の事例を参考に、観光連盟とも協議をしながら、課題の整理などを研究していく。

樋口 観光客に喜んで頂き、誘致に繋がる施策をぜひ。



清水 修 議員

質問 フェリーみしまの 安全運航の確保は

答 バリアフリー対応と入念な点検整備で長寿命化を図る

清水 フェリーみしまは就航から20年を経過し、安全運航について心配の声が聞かれる。壱岐市船舶運航事業戦略や長崎県離島航路対策協議会の大島～郷ノ浦分科会での報告を見ても長寿命化を図るとなっているが、安全運航の確保について伺う。

総務部長 航路改善計画の中で、令和9年度就航に向けた予定を示しているが、日頃のメンテナンスを徹底し、建造時期は適切に判断する。他市の事例も参考に、地元の意見も聴き進める。

清水 7月の三島航路事業運営委員会において住民から安全航路の確保やバリアフリー化の要望はなかったか。

総務部長 新船建造のほか、別の要望として車いすの固定や1階トイレの洋式化等の意見があり、今後整備を行う。

協働のまちづくり推進について

清水 地域でのまちづくり協議会の活動として、

日当ボランティアや秋祭り等に取り組んでいるが、協力者の輪が広がらないことが課題である。誰もが取り組めるような参加ポイント制を導入するのはどうか。

企画振興部長 自治基本条例の具現化の中で、主体的に活動する市民を増やす上で、他市の事例も参考に参加ポイント制が適しているか検討する。

磯焼け対策における漁業者支援について

清水 磯焼け対策については、長崎県漁業協同組合連合会長賞を受賞するなど、成果が認められているが、漁業者自らが取り組む磯焼け対策への支援の内容は。

農林水産部長 磯焼け対策として実施している植食性動物の駆除において、駆除対象魚種を増やせないかという質問と捉えている。国事業はこれまでどおり国ガイドラインのとおりであるが、イスズミハンター事業は漁業者への聴き取りを行い、本年度から要望のタカノハダイとサンノジを駆除対象に加える予定。



タカノハダイ



サンノジ(ニサダイ)



市山 繁 議員

質問 小・中学校給食費 の公会計化について

答 公会計化の導入については研究をする

市山 文部科学省の要請する学校給食費の公会計化のメリットデメリットと、今後の見解について。

教育次長 メリットの第一は教員の業務負担の軽減、第二は保護者の利便性の向上と給食費納付の多様化、給食費の徴収管理業務の効率化等の効果。デメリットは学校の関わりがなくなること、収納率低下等、導入に向けての支障が考えられる。見解としては、本市は国が示す公会計化に近い形で運用しているが、メリット・デメリットを勘案しながら公会計化の導入については研究をしていきたい。

小・中学校給食費の無償化について

市山 小・中学校給食費の無償化は子育て支援と

して、国の責務であり国の政策として実施し、自治体と共有して支援すべきであり、市長会、市議長会は国・県へ要請すべき。

市長 現在、本県市長会では国県に対する提言として、学校給食費無償化を重点項目として掲げており、今後もその要求を続けていくという方針。

老老介護の支援について

市山 老老介護の割合が昨年初めて6割を超えた。施設入所の待機者も増加し介護が長期化となれば共倒れのリスクも高まる。介護者の心身のケアの支援充実が必要。

保健環境部長 関係部署や関係機関と連携し、介護者の負担軽減のため、介護・医療・福祉サービスなどの利用支援に努める。

高齢者の増加、少子高齢化、核家族化の進展など社会環境の変化に対応するため、相談窓口の認知を広げ、支援の充実を図っていく。



行政視察に行ってきました

議会広報特別委員会（令和5年11月16日～11月17日）

視 察 先：大分県大分市 【議員定数】 44人
 【人 口】 474,665人
 【面 積】 502,39km²

調査事項：議会における広報の取組について

内 容

◆紙面づくりの創意工夫について

2008年（平成20年）に開催した市民意見交換会で、市議会だよりについて意見要望が出され、その内容について議会運営委員会で諮り、広報委員会で検討。

広報委員会で、検討事項を7項目にまとめ、これらの事項を改善するため、外部専門家2名を交え見直し会議を4回開催。実際に改善した「おおいた市議会だより146号」は議会報コンクール最優秀賞を受賞。

具体的に改善したことは、①質問した議員の会派と氏名を載せる ②議会用語の解説や大分市議会の現状を解説 ③会派や委員会を詳しく紹介 ④段の間にけい線を引く ⑤表紙は市民を前面に出したものへ変更 ⑥右から左に矢印で視点を誘導 ⑦市民の関心が高い議案を選ぶといった7点。

◆市議会だより発行にあたり、議員（委員）と事務局との役割について

2回目までは委員会で協議するが、それ以降の変更は正副委員長（議会運営委員会の正副委員長を兼ねる）に一任される。

表紙の写真はなかなか決まらないため、事務局を含め多数決で決めている。

レイアウトは、事務局が委託業者と相談。

◆市議会だよりの配付方法について

委託している配送業者を通じて、各自治委員に届け、組・班等の当番に渡し、全戸に配布。

委員会の所見

平成20年に外部の専門家を交え改善し、すぐ結果として賞を受賞されている。

その後も最優秀賞を含め何度も受賞を重ねられているが、平成30年にはさらに見直しを行い、質の向上を求め、結果にも表れている。

大分市で学んだことを今後に活かし、「必要にして十分な議会だより」になるよう研さんを重ねていきたい。



11月8日 イルカパーク現地説明会

本市の主要観光施設であるイルカパークにおいて、イルカの死亡により観光集客等に大きな影響を与えているため、事前に水質調査や飼育環境の改善を行い、10月11日～12日にかけて和歌山県からイルカ3頭（2頭購入、1頭借用）を運搬し、イルカパークへ無事搬入した。

体験プログラムはイルカの負荷が軽減されるよう改善し、生育環境についても、イルカの体調や条件が整えば生簀外の広い海域での飼育も可能となった。

イルカパークは自然界に近い状態で、来園された方にイルカとふれあい楽しんでいただける貴重な観光資源である。イルカの生育環境や健康管理を改善しているが、今後さらに現在飼育しているイルカが長く生きられるようにIKI PARK MANAGEMENTと市が連携し、引き続き海洋環境の改善、健康管理の徹底、飼育技術向上に努めていく。



森 俊介 議員の議員辞職について

令和6年1月15日付けで辞職願が提出され同日、議長により許可されました。

令和3年に初当選され、議会改革特別委員会副委員長や議会運営委員会委員、総務文教厚生常任委員会委員として市政発展にご尽力されました。

市民の声

「議会だより第79号」
クイズ応募者よりいただいた
ご意見ご感想です。

吉岐は緑豊かなきれいな島です。しかし、秋の楽しみの紅葉が少ないのが残念です。紅葉するような木を植えて秋を楽しめる島になればいいと思います。(67歳)

「withコロナ」の生活にも少しずつ慣れてきて元の生活に戻りつつあります。活気ある吉岐市を目指して、これからもよろしくお願いします。(68歳)

令和5年度補正予算を拝見し、芦辺港ターミナル整備をはじめ、観光業に力を入れていることがうかがえました。この年で恥ずかしながら勉強になりました。少しずつ観光も活気づいてくるといいですね!次号も楽しみにしています。(67歳)

最大の懸念である、人口減少に取り組んで欲しいと思っています。(29歳)

いつも楽しく家族で読んでいます。分からない事は、父や母に聞きながら子どもなりに吉岐の今を思っています。(10歳)

勝本朝市まつり

クイズに答えて図書カード(1,000円)が当たります。
皆様のご応募待ってま〜す!!

議会だよりクイズ

この議会だよりの中に
答えがありますので、
最初から最後まで良く
読んでみてください。



壱岐市防災訓練

Q1 12月会議において、公の施設の指定管理者の指定について、○か所の施設の指定管理者が指定された

Q2 追加補正予算の物価高騰対応重点支援事業費（商工振興課）で○○○○○付き商品券を販売予定

Q3 広報特別委員会の行政視察で訪れたのは、○○市議会

第79回クイズの答え

- ① 芦辺
- ② 一支国
- ③ 6

第79回クイズの当選者

畑原久美子 様
山内未奈美 様
馬込千佐子 様
村上佐和子 様
山川 房代 様
おめでとうございます！

《応募方法》 クイズの答え・住所・氏名・年齢をお書きのうえ、ハガキでご応募ください。

議会だよりを読んだご感想や、市政へのご意見・ご要望などお書き添えください。

ご意見などは、「市民の声」のコーナーで、できるだけご紹介させていただきます。

正解者の中から、抽選で5名の方に図書カード1,000円分をお贈りします。(当選者の発表は次号に掲載)

《あて先》 〒811-5521

壱岐市勝本町西戸触182-5 壱岐市議会事務局宛

《しめきり》 令和6年2月29日(当日消印有効)

《個人情報の取り扱いについて》

ご記入いただきました個人情報は、賞品発送・当選者発表及び『市民の声』等の目的以外には利用いたしません。

希望を持つことのできる1年にしていきましよう。

清水 修



年始めから、能登半島地震と羽田空港事故により尊い命が奪われるという痛ましい新年の辰年が始まりました。
天災や人災から市民の命を守るための市政を目指し、感染対策と防災対策に取り組まなければなりません。コロナから得た教訓も忘れず、安心・安全のまちづくりを目指す活動を心がけて参ります。
さて、今年は市政20周年を迎え、4月14日には市長選挙と市議会議員の補欠選挙が行われます。自らよく考え、行動することで壱岐の未来に希望を持つことのできる1年にしていきましよう。

編集後記

議会広報特別委員会
委員長 樋口伊久磨
副委員長 清水 修
委員 市山 繁
中田 恭一
土谷 勇二
山川 忠久

お知らせ

壱岐市ホームページ

<https://www.city.iki.nagasaki.jp> の市議会のインデックス(見出し)を検索すると、市長行政報告及び議員の一般質問の音声を生で聴くことができます。また市議会会議録は、議会事務局・市役所郷ノ浦庁舎(総務課)・各庁舎(市民生活班)・各図書館で閲覧できます。ご利用ください。



公職選挙法の規定について

お中元・お歳暮や、祝儀・見舞い等の金品を送ることや、暑中見舞い・年賀状などの挨拶状や有料の広告は禁止されております。

市民みなさまのご理解とご協力をお願い申し上げます。

壱岐市議会議員一同

発行責任者 議長 小金丸益明
編集 議会広報特別委員会

〒811-5521

長崎県壱岐市勝本町西戸触182-5

TEL : 0920-42-1114

FAX : 0920-42-0096

【E-mail】 iki-gikai@city.iki.lg.jp

【URL】 <https://www.city.iki.nagasaki.jp/>

